

# 予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：衛生専門学校費

## 事業名 衛生専門学校修学環境整備費（教育機器更新分）

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

健康福祉部 衛生専門学校 管理調整係

電話番号：058-245-8502

E-mail：c20301@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 8,889 千円 （前年度予算額： 4,200 千円）

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	4,200	0	0	0	0	0	0	0	4,200
要求額	8,889	0	0	0	0	0	0	0	8,889
決定額	8,889	0	0	0	0	0	0	0	8,889

## 2 要 求 内 容

### （1）要求の趣旨（現状と課題）

- ・看護師、助産師、歯科技工士、歯科衛生士を養成する衛生専門学校は、各学科のカリキュラムに基づいた機器類、道具を利用して授業を行っている。施設は、昭和61年4月に現在の校舎（昭和43年7月竣工の市立華南高校を改築）に移転し、学校運営をしているところである。
- ・近年学校関係者評価から、「学校設置の備品が老朽化している」などの指摘を受けており、学生が実習を行う医療機関から学校に配備していない新しい機器、用具類の使用方法の習熟を求められている状況である。
- ・このような状況の中、即戦力になる看護師等の養成に向けて、日々進化していく医療機器、用具などの整備を行い、学習環境を整備する必要がある。

### （2）事業内容

- ・学生が現在の医療機関に配備されている機器類、用具類の取り扱いに困らないよう、情報を収集し、計画的な必要機器類、用具類の更新を行う。
- ・必要な知識、機器類の使用方法の習熟により、医療機関から選ばれる看護師等の輩出、学生から選ばれる学校を目指す。

(3) 県負担・補助率の考え方

・在校生の授業料、入学金だけで機器類の購入には不足すること。また、当校から卒業した看護師等の本県への貢献が見込まれることから本事業を県負担で行う必要がある。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
備品購入費	8,889	教育用備品の更新代
合計	8,889	

決定額の考え方

--

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

看護師、助産師、歯科技工士、歯科衛生士の技術、知識習得に必要な機器類、用具類について、計画的な更新を行う。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R2)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R6-R8)	達成率
機器類の更新	0	0	3件	3件	21件	100%

### （これまでの取組内容と成果）

令和3年度	
令和4年度	<p>・人体解剖模型、バキュームシステム、高圧蒸気滅菌器の購入を行った。                      模型は第一、第二看護学科（5クラス）の授業において人体の構造等の習熟ができた。歯科技工学科ではバキュームシステムを技工物（歯形等）の加工時に発生する粉塵の集塵に利用しており、学生の健康被害を防止した。高圧蒸気滅菌器は、歯科衛生学科の口腔衛生実習に使用した器具類の消毒に使用し、衛生環境を整えている。</p> <p>指標① 目標：3件 実績：3件 達成率：100%</p>
令和5年度	<p style="color: red;">令和7年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</p>

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</li> </ul>	
(評価) 3	日々進化している機器、用具について、医療機関で導入が進んでいるため、当校の学生にも使用方法の習熟が求められている。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</li> </ul>	
(評価) 2	最新機器、器具を利用することにより、理解度、使用方法の習熟が図られ、実習先、就職先の医療機関でも即戦力となる。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</li> </ul>	
(評価) 2	定期的な器具、機器類の更新(購入)により、日々進化する技術、医療機器の取り扱いの習熟が図られる。

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 日々進化変化する技術や医療機関の求めている人材について対応すべく、更新(購入)する備品については随時確認や計画の改定が必要である。</li> </ul>
--

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 新型コロナウイルス感染症対応等により、医療関係者のニーズは日々増加している。医療機関から選ばれる、即戦力となる実践力、十分な知識を持った学生の輩出は安定した岐阜県の医療体制にもつながることから今後も継続すべき事業である。</li> </ul>
--

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	